

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	子宮頸部神経内分泌腫瘍における STX1 および INSM1 および肺神経内分泌関連転写因子発現の臨床病理学的検討
	研究目的	近年、肺神経内分泌腫瘍において、特異的なマーカーとして STX1 と INSM1 が評価され、従来の肺神経内分泌マーカーの感度と特異性を上回るマーカーであることが判明した。また、転写因子である ASCL1, NEUROD1, POU2F3, YAP1 は小細胞肺癌においてそれぞれの分子サブタイプを形成することが報告されている これまでに子宮頸部内分泌腫瘍に関する上記分子の研究はないが、肺と同様に新規マーカーや亜分類として使用できる可能性がある。そこで、当院での子宮頸部神経内分泌腫瘍の検体を用いて上記分子の発現を解析し、子宮頸部内分泌腫瘍におけるマーカーとしての有用性や亜分類の可能性を検討することを目的とする。
	研究対象者	2001年1月から2021年3月に当センター婦人科にて診療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2021年5月17日 ~ 西暦 2023年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター	加藤 久盛 一研究責任者
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし